

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70053
事業名	まなびのサポート費					
評価担当課	所 属	保)総務部 保護課			電話番号	011-211-2992
施策名	支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、困難な状況に応じた適切					
アクションプラン	☒ 対象 ☐ 対象外					
事業の性質	☐ 経常経費 ☒ 臨時的経費			☐ 内部管理 ☐ 法定経費 ☐ 指定管理費		
	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助・助成 ☐ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	生活保護世帯の高校進学率は、全世帯の平均よりも低い一方、中途退学者の割合は高くなっており、このような差が将来的な就労等への悪影響につながっていると言われている。このようないわゆる「貧困の連鎖」の防止策として、生活保護世帯への学習支援への対応が求められてきた。本市においては、平成27年度より、生活保護世帯及び就学援助利用世帯に対し事業を実施している。					
	事業内容 (何を実施し)	10区全40会場において週1回2時間程度の活動を実施。大学生サポーターが中心となり、学習支援だけではなく、参加者と積極的なコミュニケーションを図ることで、自己肯定感の持てるような居場所の提供を目的とした支援を行っている。 またR6年度からは、子の職業観など将来の展望を育成する座学によらない学習活動と保護者向けの進路相談会を新たに開始し、「貧困の連鎖」の防止により一層取り組んでいく。 【実施結果】 R5年度参加者556名 高校進学率100%					
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	個別学習支援を実施し、自ら考え・学ぶことの大切さを教え、学習習慣を身につけさせることにより基礎的な学力の向上を図り、高校進学を促進することに加え、自尊心や自己肯定感を持てるような居場所を提供したい。					
	他都市の状況	全政令指定都市において、中学生を事業対象とし、委託により事業実施している。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人	工	
令和5年度予算額	55,000 千円	うち特定財源	27,500 千円	正規職員業務量	0 人	工	
令和5年度決算額	54,998 千円	うち特定財源	27,499 千円	正規職員業務量	0 人	工	
令和6年度予算額	56,000 千円	うち特定財源	28,000 千円	正規職員業務量	0 人	工	
指標	アウトプット 活動指標1	事業全体の参加者数(実人数)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		551	550	556	600	600	600
	↓						
	アウトカム 成果指標1	個別学習支援参加者の高校等進学率			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		100	100	100	100	100	100
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標1：目標値を上回る556名の参加となった。今後も参加者のさらなる増加に向けてCWから対象世帯への積極的な事業周知を図る他、進路相談会、課外活動の強化を行う。 成果指標1：事業参加者の学習習慣が定着し、目標達成となった。					
	アウトプット 活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
アウトカム 成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	保護者向けの教育知識の周知や、進路相談会を行う。また、進学に向け職業選択の見識を深めたり、自己肯定感を向上させるための課外活動を実施する。						
来年度以降の方向性	参加者のさらなる増加に向けてケースワーカーから対象世帯への積極的な事業周知を図る他、進路相談会、課外活動の強化を行う。						